

## 令和3年度学校関係者評価シート(中間評価)

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	本項目については、第一回の会議で学校経営計画が承認されているため、「A」と評価することが適切であると判断しました。
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	緊急事態宣言の発令等もあり、思うように計画が進まなかった点もあるかと思いますが、目標に向かって工夫されたことがうかがえる内容でした。そのため、「A」と評価することが適切であると判断しました。
目標達成に向けた取組の適切さ	A	教職員が一丸となって、学校教育目標や働き方改革に取り組んでいる様子がうかがえます。達成度としては不十分な点があるかもしれませんが、後期に向けてさらなる取り組みが期待されるため、「A」と評価することが適切であると判断しました。
評価結果の分析の適切さ	B	学校側の中間評価が、すべて「B」である点について、自己評価シートに記載された内容だけは、それが適切な評価であるか判断がつきませんでした。中間評価のため、積極的に「A」と自己評価することを回避されたようにも見受けられます。この点についてはご検証下さい。以上の点も踏まえて、本項目は「B」と評価することが適切であると判断しました。
今後の改善方策の適切さ	A	中間評価のまとめに記載された改善方策について、①から⑨はいずれも大変重要な課題であり、それらの課題にきちんと対処する姿勢がみえる改善方策であると判断しました。そのため、「A」と評価することが適切であると判断しました。
総合評価	A	上記の各項目を総合的に評価すると総合評価は「A」とすることが適切であると判断しました。